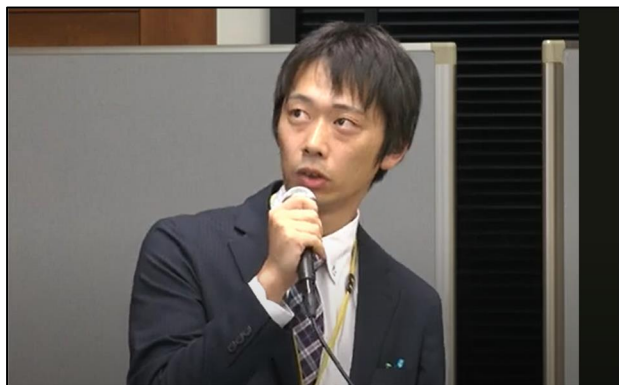


令和6年度 防犯ボランティアフォーラム 北海道・東北ブロック 令和6年7月13日開催

大河原町防犯見守り隊・パトロールランニング隊（宮城県）



大河原町ながら見守り隊・
パトロールランニング隊について



ご紹介にあずかりました、宮城県大河原町総務課行政係長の瀬戸と申します。本日は、皆様が日ごろからご尽力いただいております防犯活動の一例として、本町の「大河原町ながら見守り隊・パトロールランニング隊」について紹介します。

大河原町ながら見守り隊について

大河原町総務課行政係



大河原町



総面積 24.99km²

人口 23,438人
(令和6年5月31日現在)

世帯数 10,534世帯

町木「梅」 町花「桜」

町鳥「白鳥」



初めに当町の概要を説明します。

当町の総面積は、24.99 平方キロメートル、約 5 キロ四方の小さな町です。宮城県内でも、七ヶ浜町、塩竈市、多賀城市に次いで、4 番目に小さい町となっており、非常にコンパクトで住みよい町です。

町の中央に白石川が流れており、残雪の蔵王連峰を背景に見る一目千本桜は、本町の自慢の観光資源です。約 1,200 本、8 キロに及ぶ樹齢 100 年を超える桜並木は、桜の名所百選にも選ばれ、全国からたくさんの観光客が訪れている場所です。

また、白石川と並行するように、国道 4 号線が通っており、商業店舗も多く張り付いていることから、商業の中心の役割も果たしています。当町の人口は、2 万 3438 人、世帯数が 1 万 534 世帯となっており、見守りの主な対象となる町内の小・中学生の生徒数は、約 2000 人となっています。

大河原町ながら見守り隊について

大河原町総務課行政係



大河原町の防犯体制

大河原町防犯指導隊（隊員数 12名）

毎週火・木・日の下校時間帯に指導隊車（青パト）を利用し、町内の防犯パトロール（3班体制）を実施。

その他、花火大会や夏季休暇中の大型店での非行防止パトロール、年末年始のパトロール等を実施。



大河原町防犯協会（会員数 110名）

町内を5つの地域（西部、東部、中央、丑越、金ヶ瀬）に分け、連絡所協議会を設置。地域の特性や犯罪の発生状況等に合わせ、パトロールの曜日や時間、場所を各連絡所協議会毎に設定し、自主的にパトロールや防犯活動を行っている。

当町の防犯体制について説明します。当町の防犯体制は、「大河原町防犯指導隊」、「大河原町防犯協会」、「大河原町ながら見守り隊」によって構成されています。

その他、町内の各小学校には、登下校の通学路内で見守りを行う、学校独自の見守り隊が結成されています。

次にそれぞれの活動内容を紹介します。

防犯指導隊は、12名の隊員により、毎週火曜日、水曜日、日曜日の3回、青パトの指導隊車を使った防犯パトロールを行っています。また、花火大会をメインとした「おおがわら夏まつり」、夏休み中の商業施設、ゲームセンター、バッティングセンターなどにおける非行防止パトロール活動を行っています。ほかには、年末年始のパトロール等を実施しています。

大河原町防犯協会には、約110名の方にご協力いただき、町内を5つの地域に分けて巡回をしています。西部、東部、中央、丑越、金ヶ瀬という地区に分け、地区ごとの防犯連絡所協議会を設置して、各地域のお祭、集会の際のパトロール活動、地区ごとの犯罪発生状況に合わせた独自の防犯活動を行っております。

大河原町ながら見守り隊について

大河原町総務課行政係



その他、町で実施している防犯事業

・防犯メールの配信

宮城県警察本部等から届いた町内及び近隣市町で発生した不審者情報や特殊詐欺等の情報について、町メール配信サービスを利用し随時配信。

・防犯カメラの設置

犯罪抑止力の向上や通学児童等の安全安心のため、町内で迷惑行為が多発している場所（駅周辺や国道4号地下道等）、8カ所に防犯カメラを設置。

・特殊詐欺対策電話機等購入費の補助

町内における特殊詐欺被害未然防止のため、特殊詐欺対策電話機等を購入した方に対して、補助金（購入費の2分の1、上限5,000円）を交付。



その他、当町で実施している防犯事業として、「防犯メールの配信」、「防犯カメラの設置」、「特殊詐欺対策電話機等購入費の補助」が挙げられます。

まず、1点目の「防犯メールの配信」については、警察から情報提供いただいた、当町、近隣市町での不審者情報、あとは特殊詐欺等の情報について、町の防犯連絡メール配信サービスを利用して、町民の方に随時配信を行っています。

2点目の「防犯カメラの設置」については、町内で迷惑行為が多発している場所、駅前、中央を通る国道4号線の地下の隧道を中心に計8ヶ所、防犯カメラを設置して、犯罪抑止力の向上、通学児童等の安心安全に努めております。

3点目は「特殊詐欺対策電話機等購入費の補助」です。実は、昨日の河北新報に、町内の70代の女性がSNS型投資詐欺による手口で660万円をだまし取られる、という事例が掲載されました。

昨年から被害が急増している、投資詐欺、SNS詐欺等は、当町においても、大河原警察署と駅前交番、民生委員、児童委員のご協力で、高齢者宅を訪問して、特殊詐欺対策電話の普及に努めてきたところですが、このような事件が発生してしまい大変残念に思っています。

当町の「特殊詐欺対策電話機等購入費の補助事業」は、特殊詐欺被害未然防止のため、特殊詐欺対策電話機等を購入した方に、補助金として購入費の2分の1、上限5000円を交付しています。こちらは、宮城県警が行っている、同様の補助金も重複して受けることが可能です。2つ受けると最大1万2000円の補助が受けられますので、ぜひご活用していただきたいと思います。

大河原町ながら見守り隊について

大河原町総務課行政係

ながら見守り隊結成経緯



小学校の下校時に事案が発生

平成30年5月、帰宅途中の男子小学生が男に「一緒に行こう」と声をかけられ、腕を掴まれる事案が発生。自力で振り切り、その場から離れて無事だったが、発生状況から連れ去り事件に繋がる可能性もあった。

⇒町では、臨時的に下校時の見守り活動を実施。

それでは本題の、「大河原町ながら見守り隊・パトロールランニング隊」の紹介をします。初めに、本事業の結成の経緯を説明します。

平成30年の5月、小学校の下校時に男子児童が声をかけられ、腕をつかまれるという連れ去り事件に繋がる可能性の高い、悪質な事案が発生しました。幸い、この小学生は、自分で手を振り切り、その場から離れて無事でしたが、町ではこの事件を重く受け止め、臨時的に下校時の見守り活動を行いました。



ながら見守り隊結成経緯

臨時的に実施した下校時の見守り活動

危険性が高い事案の発生に伴い、防犯関連団体や保護者等へ下校時の見守り活動協力を依頼。

⇒ 1週間程度お願いした見守り活動に対して、多くの方々から協力をいただいた。

下校時の見守り活動は、町や防犯指導隊でパトロールを実施するほかに、地区防犯連絡所協議会の方、保護者、PTAの方にも活動への協力を依頼して、1週間程度行いました。こちらの活動を行ったところ、多くの一般の方々から協力を得ることができました。

大河原町ながら見守り隊について

大河原町総務課行政係



ながら見守り隊結成経緯

見守り活動への関心と効果

実施した見守り活動では、特に児童・生徒の保護者や防犯メール登録者から多くの協力を得ることが出来た。

【結果】

下校時の通学路は見守り活動に協力いただいた方が多数いたことにより、子供達は安全安心に下校できていた。

- ⇒ ・ 地域の方々の見守り活動に対する関心が高い
- ・ 見守り活動により、犯罪抑止力が高められた

この活動を通して、保護者の方、町の防犯メールに登録している一般の方からの協力が多いことが分かり、町全体として防犯意識の高さに気づくことができました。また、臨時的でしたが、見守り活動を行うことにより、子供たちが安全安心に通学路を下校できたことから、防犯に対する町民の関心が高く、実感として、見守り活動により地域の犯罪抑止力が高められたことが分かりました。

大河原町ながら見守り隊について

大河原町総務課行政係



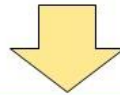
ながら見守り隊の募集



地域の防犯活動への関心が高い方が多い

⇒ 地域の方の見守り活動により、犯罪抑止力を高める

隊員50名を目標に広報誌等で募集



平成30年10月 ながら見守り隊結成

このような結果から、隊員 50 名を目標に、ながら見守り活動を行う団体を結成するために広報誌、Facebook、チラシ等で募集をかけ、平成 30 年 10 月に「ながら見守り隊」を結成しました。



ながら見守り隊の活動

【隊員数 115名】



下校時間帯におけるながら見守り活動

帽子や腕章、ネームプレートを身に付け「ながら見守り」を行うことで、犯罪抑止力を高める。

買い物や犬の散歩、ウォーキング等「何かをしながら」活動。

時間や場所の指定はナシ。1日の生活のなかで無理のない範囲で見守り活動。

当初 50 名を目標に募集した「ながら見守り隊」は、80 名、100 名と数を増やし、令和 6 年現在、約 115 名に参加してもらっています。隊員の方には、買い物、散歩、家の前の掃除など、普段の生活の中でできる限り見守り活動を取り入れてもらい、活動してもらっています。時間や場所の指定はなく、1 日の生活の中で、無理のない範囲で見守り活動をしてもらっています。

活動する際は、帽子や腕章など各装備品を身につけて、犯罪抑止力を高め、道路に穴が開いている場所、通学路に物が落ちてきそうな、崩れてきそうな危険な場所等を探してもらい、活動日誌で随時報告をいただいています。

今こちらの写真に写っている方は、ご夫婦で毎日散歩されている方です。普段は、帽子をかぶって散歩していますが、帽子がボロボロになったということで、今回は腕章をつけて写真を撮りました。



パトロールランニング隊の活動

【隊員数 32名】



パトロールランニング活動状況

健康意識の向上に伴い、若い世代を中心に、町内をランニングする方が増えてきていることから、令和2年6月に、「パトロールランニング隊」を結成。

帽子やTシャツ、LEDバンドを身に付け、ランニングをしながら見守り活動を行うことで、犯罪抑止力を高める。

続きまして「パトロールランニング隊」についてです。こちらは「パトロールランニング隊」、通称「パトラン隊」と呼んでいますが、健康意識の向上に伴い、若い世代を中心に、町内をランニングする方が増加しました。そのような理由で、こちらだけ隊を分け、令和2年6月に結成をし、現在32名の隊員が参加しています。隊員はランニングする際、「ながら見守り隊」と同じように装備品を身に付けて、活動をしています。

「ながら見守り隊」、「パトロールランニング隊」とも、活動する時間場所については、指定しておらず、自由に様々な時間、場所で見守り活動を行っていただくことで、地域全体の犯罪抑止力の向上を図っております。

大河原町ながら見守り隊について

大河原町総務課行政係



ながら見守り・パトロールランニング隊の活動装備品

ながら見守り隊



- ・帽子・ネームプレート
- ・腕章

パトロールランニング隊



- ・帽子・Tシャツ
- ・LEDセーフティバンド

こちらは「ながら見守り隊」と「パトロールランニング隊」の装備品です。それぞれ写真のとおりですが、本日はサンプルとして、帽子とTシャツとLEDバンドと腕章をお持ちしました。もしご興味ある方いらっしゃれば、見に来てください。パトロールランニング隊のTシャツは、速乾性の素材で作っております。隊員からは、「一体感を持ってパトロールにあたる」と好評です。



見守り活動に関するお願い

1. 気温が高い日には水分補給を行うことや、交通事故に遭わないよう反射材製品を身に着ける等、活動中の安全管理を十分に行ってください。
2. 効果の高い見守り活動を継続して行っていただくために、研修会を年1回実施するのでご参加ください。
3. 毎月3日、13日、23日の「3」のつく日は活動強化日とします。
強化日は、活動する時間を1日の中なるべく多く取り入れてください。
4. 「ながら見守り」は、犯罪抑止力を高めることが活動の目的です。犯罪や非行等を見かけた場合には、危険ですので直接注意するのではなく、大河原警察署(0224-53-2211)に通報してください。
また、緊急時は「110番」通報をお願いいたします。

また、「見守り活動に関するお願い」として、隊員の安全確保、効果の高い活動を継続して取り組んでいただくために、活動時の注意事項、研修会への参加、活動強化日の設定等について、入隊される際にお願いしている事項があります。

1 点目は、気温が高い日、湿度が高い日は、水分・塩分の補給を行い、交通事故に遭わないよう反射板製品を身につけて、健康管理、交通安全に十分注意しながら、見守り活動を行ってくださいと注意をしています。やはり、自身が健康でなければ見守り活動が十分にできないことから、こういったことを事前にお伝えしています。

2 点目は、研修の実施です。犯罪情勢が日々変わっていく中、より質の良い効果の高い見守り活動を実施するために、年1回の研修には、できる限り参加をしていただくようお願いをしています。

3 点目は、活動強化日の設定です。こちらは見守り隊の「み」というところから、3のつく日を、活動強化日として設定してメール等で周知をして、3のつく日は1日の中で、なるべく見守り活動を取り入れてください、とお願いをしています。

4 点目は、入隊される際に必ず守ってください、と釘を刺す事項ですが、「ながら見守り活動」は、あくまでも地域の目を増やすことで、犯罪抑止力を高めることが目的の事業となっています。実際に、犯罪行為、非行行為を見つけた場合は、直接注意をするのではなく、必ず警察に通報するようにお伝えをしています。自分で注意をしてしまうと、思わぬトラブルの元になりますので、このことについて注意するように呼びかけています。ただし、緊急事態になってしまった場合は、110番通報をお願いしますと、入隊される際に口を酸っぱくして言っています。

研修会の開催

【なから見守り隊研修会】

- ・防犯講話
- ・町内犯罪発生状況の説明
- ・各隊員からあった危険箇所や活動状況報告の紹介
- ・フィールドワーク 等



【パトロールランニング隊研修会】

- ・防犯講話
- ・町内犯罪発生状況の説明
- ・各隊員からあった危険箇所や活動状況報告の紹介
- ・フィールドワーク 等



続いて、研修会の内容を紹介します。

「なから見守り隊」、「パトロールランニング隊」とともに、警察署等の関係機関から防犯に関する講話、事務局から町内の犯罪発生状況の説明、各隊員から報告があった危険箇所等の情報共有、犯罪が起こりやすい場所を知るためのフィールドワークなどを行っています。隊員の方々が意欲を持ちながら継続して、見守り活動に取り組んでいただけるように実施しています。



効果的な見守り活動

犯罪者は、犯罪を実行しやすい状況を好む。



犯罪を実行しやすい状況とは・・・



犯罪者は一般人に紛れ、犯罪を実行しやすい場所（周囲から見られていない、誰でも入りやすい）を物色している。



「ながら見守り活動」の実施

「ながら見守り活動」を実施し、犯罪者が嫌がる状況をつくることで、犯罪を未然に防ぐことが可能になる。

フィールドワークでは、見守り活動、パトロールランニングをしながら、通学路内の道路や公園、住宅街などを実際に回ります。犯罪者が好む状況、入りやすく見えにくい場所、例えば、隧道、狭小地など誰でも入れて、一旦入ってしまうと周りからは見えにくくなる場所のほか、ポイ捨てが多いところ、放置自転車が長年放置されている場所、壁落書きがあったり、荒れ放題の空き家があったりする場所は、管理をする人がいなかったり、少なかったりと無秩序な状態になっているという理由から、犯罪が多くなりやすい場所となっています。そのような場所を見つけることを目的にフィールドワークを行っています。実際にそういう場所を学んで、どのように「ながら見守り活動」を行うと犯罪者が嫌がる状況を作り出せるのか、犯罪を未然に防ぐことができるのかと考えながら、フィールドワークを行っています。



迷惑行為発生状況の推移

【令和2年】

迷惑行為（声掛け、つきまとい、露出等） 11件

【令和3年】

迷惑行為（声掛け、つきまとい、露出等） 13件

【令和4年】

迷惑行為（声掛け、つきまとい、露出等） 11件

【令和5年】

迷惑行為（声掛け、つきまとい、露出等） 15件

※件数については、大河原警察署等発行「さくら」を参考

続きまして、こちらは令和2年から令和5年までの過去4年間に、大河原町内で発生した迷惑行為の件数となっています。ながら見守り活動が本格的に開始した平成31年、令和元年の迷惑行為件数は30件となりました。

こちらを見ていただくとおり、令和2年から令和5年にかけての迷惑行為件数は11件から15件で、平成31年、令和元年と比べまして約半数ぐらまで減少しました。この期間、コロナでの感染予防対策がありましたので、全てがこういった見守り活動による抑止効果によるものとは言い切れませんが、減少した理由として、ながら見守り活動が少なからず影響を与えることができているのではないかと考えております。

大河原町ながら見守り隊について

大河原町総務課行政係



「ながら見守り隊」今後の事業計画

・新規登録者の募集

町広報誌や防犯メール、パトロールランニング隊のマラソン大会への参加等による周知を行い、入隊者の増加を図る。

・研修会の実施

効果の高い見守り活動を継続して行ってもらうため、研修会を年1回以上継続する。

・「ながら見守り隊通信」の発行

ながら見守り隊の活動状況や町内の犯罪発生状況等に関する情報を、隊員及び町民の皆様にお知らせする。



こちらは「ながら見守り隊」の今後の事業計画です。広報誌や防犯メール、LINEなどを活用しながら、ながら見守り隊の周知徹底を図ることで、防犯、抑止力の向上と、新規登録者の募集に繋がりたいと思っています。

また、年1回の研修会のほかに、今回の投資詐欺のようなイレギュラー、かつ重要度・必要度が高い事案があった際には、臨時の研修会を開きまして、犯罪の未然防止のために必要な情報・ポイントなどを関係機関と調整しながら提供したいと考えています。

最後に、ながら見守り活動の状況報告、町内の犯罪発生状況、犯罪の起こりやすいポイントなどに関する情報を「ながら見守り隊通信」として、住民の皆様にも周知できたらよいと考え、新たな広報についても検討をしているところです。

以上が「大河原町ながら見守り隊」、「パトロールランニング隊」の紹介です。

最後になりますが、犯罪はいつどこで発生するのか分かりません。弱者を狙った卑劣な犯罪もあります。「大河原町ながら見守り隊」及び「パトロールランニング隊」は、そんな犯罪を「許さない」、「起こさない」、「起こさせない」を合言葉に、犯罪がゼロになることを目指して活動しています。

この事例発表を通し、東北、北海道から1件でも多くの犯罪抑止になれば幸いです。

本日は、最後までご清聴いただき、誠にありがとうございました。



ご清聴ありがとうございました。



講評

東北大学大学院 文学研究科 准教授 荒井 崇史

【荒井】 発表ありがとうございました。犯罪者が嫌がる場所を分析しながら、活動されているところは素晴らしいと思いました。なかなか、そこまで考えながら活動するのは難しいかと思います。

質問ですが、迷惑行為が起っている場所は、ある程度分析されているのですか。

【発表者】 こちらは警察の方から情報提供が来るようになっていますが、やはり通学路付近、あとは夕方 5 時 6 時くらいの帰宅途中の女性を狙った犯行が多くなっています。

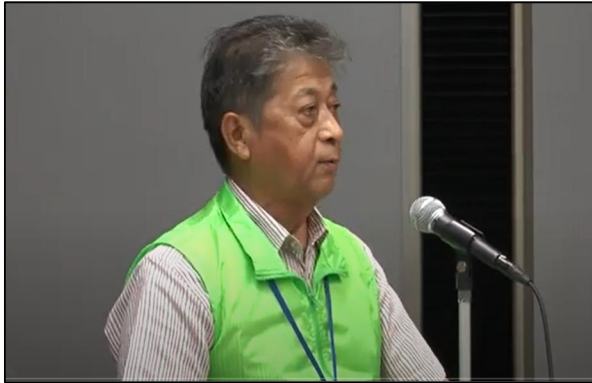
【荒井】 簡単なものでいいと思いますが、地図にシールを貼って行って、それを集積すると多分傾向が見えてくと思います。シールがいっぱい貼られているところをみると、どこが危ないのかすぐにわかるので、犯罪を分析して対策するという意味ではいいのかなと思いました。

あと 1 点、ながら見守りをされている方は、具体的には、日常どのような場面でされているのですか。例えば散歩したり、買い物したりする時にされているのですか。

【発表者】 1 番多いのは、散歩の方です。高齢者の方は、朝の見守りで散歩する時に、腕章や帽子をつけて歩いていただいています。あとは、主婦の女性の方です。買い物に行くとき、学校などにお子さんを迎えに行くときに、腕章や帽子をつけて、ながら見守りをしてください。

【荒井】 あと小学生の場合、1 年生ですと午後 1 時から 2 時とか、学年によって下校時刻が違うので、時間帯を指定して、ながら見守りをお願いするのもいいのかなと思います。あまり時間を指定すると、ながら見守りの意味がなくなるのかと思いますが、少しだけでも情報提供してもいいと思います。以上です。ありがとうございました。

土崎小学校見守りボランティア（秋田県）



ただいまご紹介がありました、「秋田市立土崎小学校見守りボランティア」です。本日はこのような機会をいただきありがとうございます。早速ですが、私達の活動を紹介します。

活動地域の紹介

- 秋田市北部に位置する港町。
- 北前船の寄港地となり「土崎湊」として栄えた。
- 毎年7月20日・21に行われる土崎神明社例祭の曳山行事は、「重要無形民族民俗文化財」・「ユネスコ無形文化遺産」に登録。
- 秋田市の人口は29万6,828人。うち土崎地区の人口は3万466人。（令和6年4月末現在）



私達が活動する秋田県秋田市土崎地区は、秋田市北部にある秋田運河の河口に位置する港町です。江戸時代には、土崎が年貢米を集積する港に指定され、北前船の寄港地となり「土崎湊」として栄えました。毎年7

月 20 日、21 日に行われる土崎神明社の例祭である「曳山行事」は、400 年近い歴史を持ち、国の「重要無形民族文化財」に登録されているほか、「ユネスコ無形文化遺産」にも登録されています。地域に根付いた祭りであるだけでなく、多くの観光客に親しまれている祭りでもあります。

秋田市の人口は 29 万 6,828 人で、そのうち土崎地区の人口は 3 万 466 人です。秋田市内では比較的人口が多く、住宅街であるため、秋田市の副都心的な役割となっています。

土 崎 小 学 校 の 紹 介

○ 土崎地区の中心部に立地。

○ 全校児童 168 名。

○ 明治 7 年 4 月学校創設。

創立
150周年



活動の母体となっている「秋田市立土崎小学校」を紹介します。土崎小学校は、近くに駅や商店街、病院などが立ち並び、土崎地区の中心部に位置しています。また、土崎新名所を初め、多くの神社仏閣に囲まれた歴史、情緒あふれる地です。

全校児童は 168 名です。土崎小学校は明治 7 年 4 月創立で、今年度で 150 周年を迎える長い伝統を誇り、11 月 2 日には記念式典・祝賀会が行われる予定です。本日、ボランティアフォーラムにおいて、私達、土崎小学校見守りボランティアの発表ができることは、大変名誉なことであり、心から嬉しく思っています。

団 体 の 概 要

結成の経緯

子どもたちの犯罪被害防止・交通事故防止のため、見守り活動が重要！

「土崎小学校安全対策委員会」を設置して活動をスタート

○ 結成年月日 ～ 平成17年 7 月

○ 構成員

各町内会登録者 18名
土崎地区民生児童委員 13名
の計31名で構成

○ 「地域の子どもは地域でまもる」

スローガンの下、地域住民が通学路などの巡回パトロールや危険箇所の監視を行う自主防犯ボランティア団体



土崎小学校見守りボランティアの概要をお話します。子どもたちを犯罪被害や交通事故から守るため、平成 17 年 7 月に、土崎小学校では「土崎小学校安全対策委員会」が設置されました。これが「土崎小学校見守りボランティア」の活動の始まりです。

当時は、ボランティア参加者が着るジャンパーではなく、ボランティア数名が、児童の登校時の声かけ運動をしており、地域住民の方にながら見守り活をお願いしていました。現在は、町内会の登録者 18 名、民生児童委員 13 名でボランティア活動を行っており、早いもので今年で 20 年目を迎えました。地域住民が、通学路などの巡回パトロールや危険箇所の監視を行う、スクールガードの観点である、「地域の子どもは地域でまもる」という合言葉のもと、活動を展開しています。

活 動 内 容

見 守 り 活 動 ・ 交 通 誘 導

- 児童の通学路における見守り活動
- 交差点での交通誘導
- 危険箇所への配置



危 険 箇 所 の 点 検 活 動

- 活動中や日常生活での通学路の点検



あ い さ つ 運 動

- 笑顔で元気よく、あいさつを交換

活動内容を紹介します。私達の活動は、大きく3つあります。

1つ目は、「見守り活動・交通誘導」です。児童の通学路での見守り活動、交差点での交通誘導、危険箇所への配置により、通学時の児童の安全を守っています。

2つ目は、「危険箇所の点検活動」です。見守り活動を通じて発見した危険箇所や日常生活を通じて発見した危険箇所の確認を行い、学校と情報共有をしています。

3つ目は、「あいさつ運動」です。見守り活動や交通誘導中は、笑顔で元気よく「おはようございます」や「いってらっしゃい」といったあいさつを交わしています。児童の1日が、清々しい気持ちでスタートしてほしい、という思いでこの運動をしています。



見守り活動・交通誘導



「見守り活動・交通誘導」について詳しくお話をします。毎朝、児童が登校を開始する午前 7 時 10 分頃から登校が完了する午前 8 時 10 分頃までの 1 時間、通学路マップに基づいて学校周辺の交差点を中心とした約 10 ヶ所に 2 名から 3 名を配置して、見守り活動・交通誘導を行っています。

ボランティア登録者は、土崎小学校からジャンパー、ネームプレート、腕章、帽子が貸与されるため、これを身に付けて活動します。ネームプレートには、学校の校章、ボランティア登録者の氏名、町内会名が記載されており、児童にも、ボランティアをしている者が誰なのかわかるようになっています。



危険箇所点検



次は「危険箇所点検」です。通学路は、交差点のほかにも危険な場所があります。子どもたちの通学時間は、大人の通勤時間と重なることから、交通量が多く、危険な場所がたくさんあります。見守り活動中はもちろんのこと、日常生活において、危険箇所に当たるのではないかと感じた場所は、情報共有を行っています。

春先は、新入生が入学するため、警察官と一緒に通学時の見守り活動をしながら、危険箇所の点検を行っています。

あいさつ運動

おはようございます！

1日の始まりは
「元気な挨拶」
「明るい笑顔」



おはようございます！



いってきます！



いってらっしゃい！

次は、「あいさつ運動」です。見守り活動や危険箇所の点検活動中は、笑顔で元気よく「おはようございます」や「いってらっしゃい」の挨拶を交わしています。元気な挨拶により、明るい笑顔を引き出せます。1日の始まりを、気持ちよくスタートできるように、あいさつ運動を行っています。児童と「おはようございます」の挨拶のキャッチボールがよくできた朝は、とても嬉しく思います。



活動以外での児童との交流

見守り活動以外にも小学校の行事に参加して児童との交流を深めています！

夏休み中の全市一斉ラジオ体操

クリスマス会



餅つき大会



見守り活動以外にも、児童との交流を深めています。夏休み中の全市一斉ラジオ体操は、小学校のグラウンドで行われます。児童とともに、朝の清々しい空気を体いっぱいに取り込み、楽しく体操をします。クリスマス会では、ボランティア構成員がサンタクロースの姿で子どもたちにプレゼントを渡します。ゲームや歌の披露など、楽しい時間を過ごしています。

餅つき大会では、児童が臼と杵を使って交代しながらついた餅をみんなでいただきます。このように季節ごとのイベントに参加し、児童との交流を深め、良好な関係を築いています。

あ り が と う 集 会



土崎小学校では、見守りボランティアと全校児童との対面式、「ありがとう集会」が行われます。集会当日は学校側から、見守りボランティアの構成員 1 人 1 人が紹介されます。そして、ありがたいことに全校生徒から、一生懸命丁寧に書いてくれた、感謝のメッセージカードがプレゼントされます。

ボランティア構成員 1 名に対して、低学年から高学年まで、3 通から 4 通ほどのメッセージカードをいただいています。私はボランティア活動を長く行っていますが、毎年いただくメッセージカードをファイルに綴じて、何度も見返しています。すると、不思議なことに元気が出て、どんなに悪天候でも「ボランティア頑張るぞ」、「事故のないように児童を見守るぞ」という強い気持ちになれます。本日ここに来られなかったボランティア構成員も、同じ気持ちであると思います。

私達にとって、メッセージカードはまさに宝物なのです。これまでいただいたたくさんのメッセージカードから、かわいいメッセージカードと、私の気持ちを見透かしたような衝撃的なメッセージカードを紹介します。

手紙の紹介

いつも、あんぜんに見まってくれてありがとうございます。
こえをかけてくれるのでとてもうれしいです。

これからもがんばってください。

【※ 原文のまま。 低学年の女子児童】

いつも毎朝私たちを見守ってくれて、ありがとうございます。
私は中学校へ進学します。
お願いがあります。

私が中学校へ行っても、ボランティア活動を辞めないでください。
残った後輩が事故がないよう見守って欲しいのです。
6年間ありがとうございました。

【※ 原文のまま。 高学年の女子児童】

1 枚目です。「いつも、あんぜんに見まってくれてありがとうございます。こえをかけてくれるのでとてもうれしいです。これからもがんばってください。」

2 枚目です。「いつも毎朝、私たちを見守ってくれて、ありがとうございます。私は中学校へ進学します。お願いがあります。私が中学校へ行っても、ボランティア活動を辞めないでください。残った後輩が事故がないよう見守って欲しいのです。6年間ありがとうございました。」

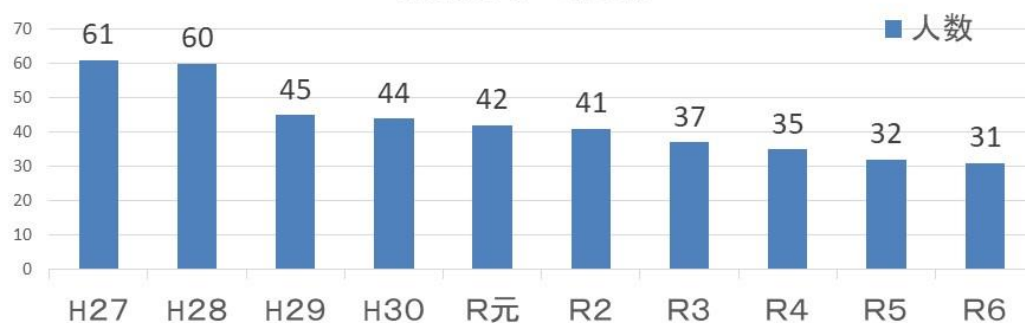
実は私は見守りボランティアを始めた頃は、自分勝手な考えで、孫 3 人が中学に進学したら、ボランティア活動をやめようと思っていました。

今考えると、本当に恥ずかしい限りです。このメッセージカードを読んで、ボランティア活動の真の姿を子供たちから教えられました。

団体の課題

人材の確保

構成員の推移



「団体の課題」についてお話しします。1 番の課題は、「人材の確保」です。ボランティア構成員の数は年々減少しております。

グラフをご覧ください。グラフのとおり、平成 27 年にはボランティア構成員は 61 名いましたが、徐々に人数が減り、現在は 31 名です。10 年前から半減となりました。

課題の要因

構成員の高齢化

担い手の不足

退任の時期

課題の要因について考えられることは、1つ目は、「構成員の高齢化」です。ボランティア構成員の平均年齢は70歳です。構成員の入れ替えはありますが、長く活動していただいている方が多いため、平均年齢は毎年上がっています。

2つ目は、「担い手の不足」です。一般企業や公務員の定年制度の見直しのため、退職年齢が延長されています。ボランティア活動に参加する方の年齢が高くなるほか、ボランティア活動の参加者も少なく、担い手が不足しています。

3つ目は、「退任の時期」です。ボランティア構成員は、お孫さんが土崎小学校に通う児童であるという方が多くいます。構成員は、お孫さんが中学進学タイミングで退任されるため、継続して活動を行う新たな人材を確保しなければなりません。

課題の解決に向けた取組①

土崎小学校との連携

小学校からの
物品の貸与



経済的負担の軽減
一体感の醸成

児童との交流
・ありがとう集会
・季節ごとのイベント



構成員の士気高揚
・メッセージカードの贈呈
・児童との会話



人材の確保という大きな課題の解決に向け、私達が取り組んでいることを紹介します。

まずは、「土崎小学校との連携」です。ボランティア登録者は、土崎小学校から、ジャンパー、ネームプレート、腕章、帽子が貸与されます。活動に必要な物品が小学校から貸与されるため、経済的負担も減ります。また同じものを身につけることで、児童にボランティア構成員であることを認識してもらえると同時に、一体感を醸成することにも繋がっています。

学校の計らいにより、ボランティアに感謝を伝える「ありがとう集会」があるほか、季節ごとの学校行事にも招待され、児童と交流する機会もいただいています。お互いの顔を知り、友好的関係を築きながら、児童に直接感謝の言葉をかけられることで、構成員の活動への士気が高まっています。

課題の解決に向けた取組②

地域住民と一体となった活動

登校時のみの見守り活動



活動の継続



活動の周知

➡ 下校時は、地域住民が行う「ながら見守り」が浸透！

➡ 各地区の町内会・民生委員の単位で行っていた活動をさらに広げるため、児童の保護者に対する見守り活動の協力を依頼！！



保護者が一緒に登校するなど見守り活動が浸透！！

課題の解決に向けた取組の2つ目は、「地域住民と一体となった活動」です。「土崎小学校見守りボランティア」の活動は、登校時だけに専念しており、下校時は行っていません。下校時は、これまで見守り活動を継続したことで、地域住民から活動を知ってもらうことに繋がり、下校時については、地域住民が犬の散歩や、玄関先の掃除などそれぞれの活動をしなが、下校する児童に「おかえり」と声掛けをして、防犯活動を行う、ながら見守りが浸透しています。また、更なる活動の幅や負担を減らすため、児童の保護者にも協力をいただいています。各地区の町内会や民生委員だけでなく、児童の保護者に対する見守り活動の協力を依頼しています。

課題の解決に向けた取組③

広報啓発活動

- 町内会・保護者への呼びかけ
- 公共施設等でのスクールガード募集

活動を知ってもらい、参加を促して「人材の確保」に繋げる！



図書館や
スーパー等
へ掲示依頼

警察主催のキャンペーン等
に参加して、ボランティア
活動への参加を呼びかけ！

3つ目は、「広報啓発活動」です。地域住民と一体となった取組と重なる部分もありますが、広報啓発活動を積極的に行い、保護者への呼びかけや町内会の役員会などの機会に、ボランティアの参加を呼びかけています。

また、長年構築してきた人間関係を活用し、図書館、スーパーマーケット、金融機関等に依頼して、私達の活動であるスクールガードの募集案内を掲示してもらうなど、地域のネットワークを活用し、幅広くボランティアへの参加を呼びかけることで、人材の確保に繋げています。

活 動 の 成 果

地道な見守り活動の継続

地域住民への活動の浸透
登校時間帯での交通事故・犯罪被害はなし

令和5年10月10日
「秋田県安全・安心まちづくり功労団体表彰」を受賞



最後に私達の活動の成果をお話します。私達は、コロナ禍でも中断することなく、児童、地域住民の安全安心のため、地道な見守り活動を継続してきました。活動を始めてからこれまで、登校時間帯での児童の交通事故や犯罪被害はありません。

私達の活動が評価され、昨年、「秋田県安全・安心まちづくり功労団体表彰」を受けました。令和3年には、「秋田県防犯功労団体賞」を受けています。

結びとなりますが、私は毎朝、子供たちが笑顔で元気に登校する姿を見ますと、体力が続く限り、見守りボランティアの活動を頑張っていこう、という意欲が湧いてきます。子どもは地域の宝です。これからの時代を担う何ものにもかえがたい大切な命です。子どもたちは1人1人が、夢に向かって大きく羽ばたく、無限の可能性を持っています。私達、「土崎小学校見守りボランティア」は、子どもたちが、交通事故や悲惨な事件に遭わないように、活動を続けていくことが、メンバー1人1人に与えられた責務だと考えています。

今後も土崎小学校の子どもたちを全力で応援し、見守りボランティア活動に邁進してまいります。以上で「土崎小学校見守りボランティア」の発表は終わります。ご清聴ありがとうございました。

土崎小学校見守りボランティア



ご清聴ありがとうございました

講評

東北大学大学院 文学研究科 准教授 荒井 崇史

【荒井】 発表ありがとうございました。活動以外でも児童との交流をたくさんやっていて、とてもいいなと思いました。特に、団体さんの動機付けになるだけでなく、子どもが団体の方とふれ合うということは、何かあった時に相談しやすい状況を作ってますので、子どもたちにとってはとてもいい事だと思います。今後も継続されるとは思いますが、是非子どもたちとの交流を大事にして欲しいと思います。小学校がどのくらい協力してくださるのかわかりませんが、小学校との関係も重要ですので、今のいい関係を続けて欲しいと思っています。

それから、人材不足のお話は後ほどしたいと思いますが、広報活動されていて、効果はどうか。駅でチラシを配ったり、ポスターを貼ったりしているかと思いますが、構成員は増えてますか。

【発表者】 駅の広報活動で、構成員が増えることは期待していませんが、活動をしていることを知ってもらうという効果はあると思います。

【荒井】 はい、それは重要ですね。活動内容を伝えて、参加してもらうことも重要だと思います。あと、構成員を増やすために重要だと思うのは、初めてやる方にはハードルを下げたあげると、入りやすい雰囲気になるのかなと思います。最初は活動に参加してくれる頻度を少なくしたり、チラシ配りのお手伝いをお願いしたり、入りやすい環境を作ったあげると増えるかもしれないと思いました。ありがとうございました。

寒河江市防犯協会寒河江支部（山形県）



皆さんこんにちは。「寒河江市防犯協会寒河江支部」の取組を発表します。私は、当支部支部長である木村と申します。顧問の工藤が同席していますので、併せてよろしくお願いします。

1 活動区域

活動区域



寒河江市の概要（令和6年5月1日現在）

人口：39,007人

世帯数：14,152世帯

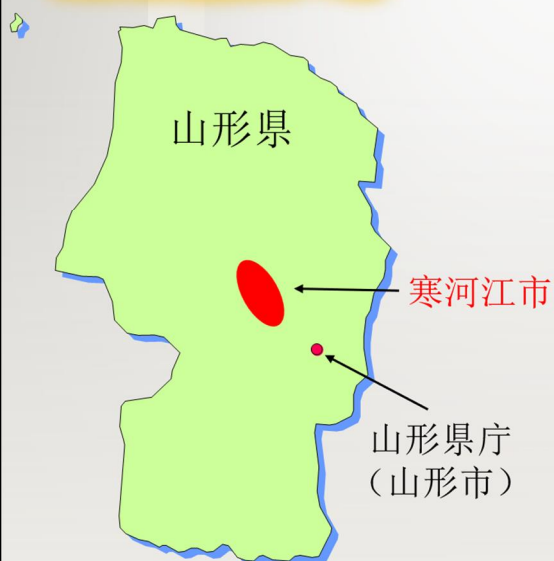
寒河江市の特徴↓



出羽三山の一つである月山

初めに、寒河江市を紹介します。寒河江市は山形県のほぼ中心に位置し、令和6年5月現在で人口は約3万9千人です。横顔の頬の位置に当たります。

活動区域



寒河江市の概要（令和6年5月1日現在）

人口：39,007人

世帯数：14,152世帯

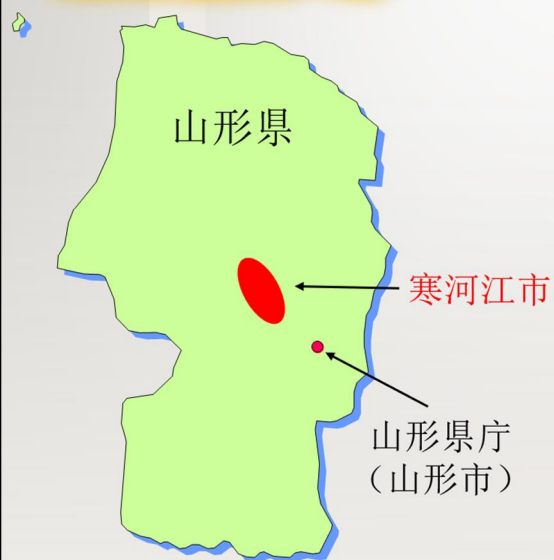
寒河江市の特徴↓



雄大な山々（朝日連峰）

奥に見える雄大な朝日連峰などの山々は寒河江の力強さを表しています。

活動区域



寒河江市の概要（令和6年5月1日現在）

人口：39,007人

世帯数：14,152世帯

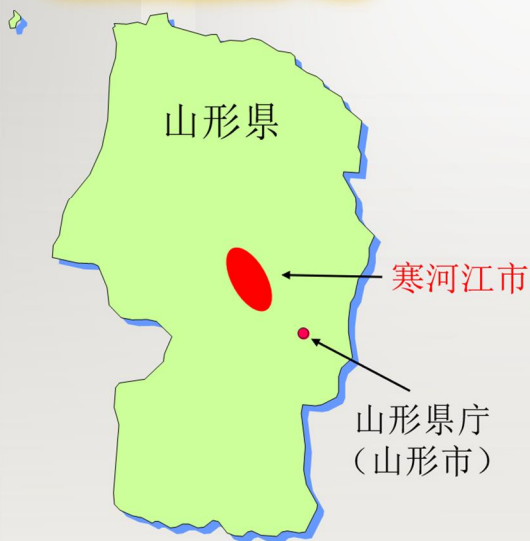
寒河江市の特徴↓



市内を流れる川

また、寒河江市の中心を流れる母なる川、最上川は寒河江市の優しさと奥深さを表しています。

活動区域



寒河江市の概要（令和6年5月1日現在）

人口：39,007人

世帯数：14,152世帯

寒河江市の特徴↓



つつじ公園からの景色

さらに、寒河江市の中心に東洋一を誇るつつじ園があります。これは寒河江市の雄大さを表していますし、その節には県内外から多くの見学者が訪れます。

活動区域



寒河江市の概要（令和6年5月1日現在）

人口：39,007人

世帯数：14,152世帯

寒河江市の特徴↓



伝説のさがえ祭り

9月になると、神輿祭りが行われます。徳川時代300年の統治より100年長く、400年を統治した大江公が築いた歴史ある祭りです。神輿は約30基ほど参加します。町会ごと、八幡神社、神奈川県寒川市、宮城県名取市などからも来られます。

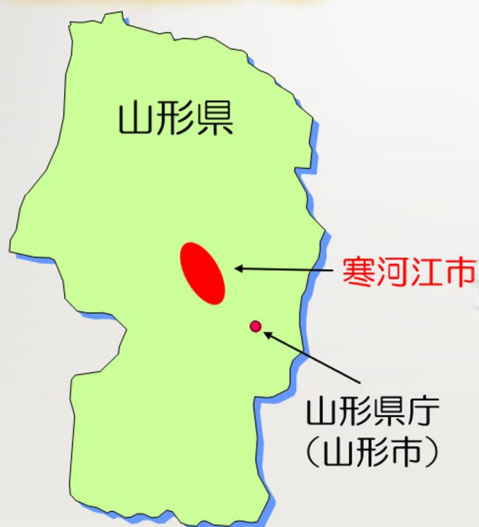
活動区域

寒河江市の概要（令和6年5月1日現在）

人口：39,007人

世帯数：14,152世帯

寒河江市の特徴↓



県内随一のさくらんぼの産地

主な産業は、農業を中心とした産業構造になっており、中でも中心的な作物はさくらんぼです。今年は昨年からの高温障害により生産量が若干少なかったようです。二つの実がくっついている双子みたいなものが多かったようで、食べても味は変わりありませんが、その商品価値は半分だそうです。

活動区域

町内会数
99町内会

世帯数
約5100世帯

主な施設

- ・小学校（2校）
- ・中学校（1校）
- ・高校（2校）
- ・JR寒河江駅 など

日夜、市の中心エリアで活動中！

さて、当支部は、寒河江市の中心部約99町会5100世帯を活動範囲としております。管内には小学校2校、中学校1校、県立高校2校のほか、JR寒河江駅があります。

2 団体の概要

団体の概要

結 成：平成17年4月

支部員：19人（令和6年4月時点）

団体結成のいきさつ

平成16年 下半身露出事件が連続発生

当時の寒河江支部内の児童生徒数は2,346人

警察や教育機関から「見守り隊を結成してほしい」との意見要望

団体結成へ！

寒河江市防犯協会
寒河江支部

団体の概要です。当支部は、平成16年ごろ、下半身露出事件が多発し、当時26件ほど発生したことを受け、当時の寒河江警察署生活安全課長から、寒河江市に対し、この状況を打破するために力を貸してほしいとの要請がありました。当時の市長が、町会長連合会長に相談し、平成17年度に防犯支部が結成されました。

団体の概要

団体結成後、地道な活動を継続。

そして結成から約15年、団体の活動が全国に！

令和元年
全国テレビに出演
(NHK「ガッテン！」)

寒河江市防犯協会
寒河江支部

当時、防犯協会は町会長連合会に属していました。令和元年に留守番電話設定による特殊詐欺防止の徹底が脚光を浴び、NHK「ためしてガッテン」の番組に出演しました。ある日の夕方、県警本部生活安全企画課長から、明日朝にNHKが行きますのでよろしく願いします、と言われました。毎日、変な電話のあった家、物を買った家、留守電をしている家、留守電を知らない家などを訪問して、話を聞きました。約1ヶ月以上、警察4人、NHK6人、毎日取材とロケ等をしました。

ロケ取材が終わった後は、NHK東京放送局から呼ばれ、編集取材を受けました。テレビで流れた映像を少しご覧いただきたいと思います。

【テレビ映像】

※以下「3 活動内容」までの説明は、テレビ映像の説明です。

皆さんにお願いがあります。まずオレオレ詐欺を防ぐには、留守電にするのが一番です。納得いただければ、「ガッテン」の格好をしてください。よろしくお願いします。留守電にすることにより、慌てることなく、考える時間が取れます。

これは寒河江市の正面から見た蔵王山の山々と、その手前に母なる川、最上川があります。

自然豊かな山形県のほぼ中央に、寒河江市があります。先ほど話したように、人の顔の頬の位置にあたります。私は、小学校の登下校時に合わせ、青パト活動に出かけます。不審者対策とチャイルドガードのためです。同時に、民生委員もしていることから、お年寄りの家庭にも安否確認のために訪問もしています。チャイルドガードは30分ぐらい、お年寄りの家庭訪問は約1時間半ぐらいです。

不審者などのメモを取り、青パトから帰ってきたら記録をします。後々に問題が発生したときのためです。今は、特に問題なく終わっています。始めた頃は、車の運転手からいらまされたり、嫌味を言われたりして大変な時もありましたが、今は時折パトカーも通ってご苦労様と声かけてくれます。

その辺を一般車が見ているのか、最近ではそういう嫌がらせもなくなり、今では一般車も挨拶してくれる方も多くなりました。

車を運転する場合、ブレーキとアクセルを間違わないことと余裕を持った運転をするようにと、お年寄りにも指導しています。

民生委員も兼ねていますので、お年寄りの家庭を訪問し、安否確認と留守電がどうなっているか、家族と連絡が取れているかを確認します。

また、多くの家庭はこれまで、留守電をしていないのが当たり前でしたが、ガッテン放送以降、留守電をしたいがよく分からないという問い合わせが多く、やり方を教えるために訪問して指導しています。

最近はそのような方は見当たりませんが、時々留守電を外している家庭もいますので、再度留守番電話の協力要請をしています。

留守電の録音内容の確認もしています。特に、地域全体で留守電をするようにすることと、コンピュータの声ではなく、子どもの声で地元の言葉を録音するよう指導しています。

重要なのは、地域全体で留守電をしているところ、子供の声、地元の声、山形弁で留守電の録音をすることです。詐欺グループも、地域全体でとなると考えるのではないかとアドバイスをいただいて、当時対応していました。

いかがでしたでしょうか？全国から、いろんな意見がありました。この番組に出られた方々の、知人・友人が大半でした。地域の方々からも喜ばれました。当時、寒河江市は特殊詐欺ゼロであったと聞いています。さらに、去年は「全国功労ボランティア団体」として全国防犯協会連合会長からも表彰を受けました。

このガッテンの番組は、当時夜ゴールデンタイム 8 時から 8 時 45 分までの 45 分番組で、私は約 20 分間出演いたしました。



活動内容

- 1 登下校時の見守り活動
- 2 青パトによるさくらんぼ盗難警戒
- 3 自転車の防犯診断
- 4 寒河江まつりにおける防犯パトロール
- 5 大型スーパー等への防犯のぼり旗の寄贈
- 6 年末の飲食店警戒
- 7 市の補助金を活用した防犯カメラ設置活動



次に主な活動内容を申し上げます。1つ目は、小学校の児童生徒の登下校時の立哨活動、併せて青色回転灯による巡回活動です。

チャイルドガードを中心とした、子どもの見守り活動と青パトによる活動が充実し、子どもたちも最近は意識するようになってきました。青色回転灯は、欧米では警察のパトカーに使用されていると聞いています。青色は目に入りやすく、犯罪心理上嫌な色に見えるそうです。

2つ目は、「さくらんぼ盗難防止キャンペーン」です。青色回転灯を装着した車と、警察のパトカー、総勢 10 台前後で、今年は郵便局の赤バイク 2 台も参加して実施しました。これは大変好評を得ており、夜間にもやってほしいと言われることがあります。現実にはできない状況です。巡回先は、観光センター3ヶ所、JA 選果場、生産者 1ヶ所の 5ヶ所で約半日かかります。

3つ目は、「自転車の盗難防止キャンペーン」です。4月の新学期当初と2学期の初めに実施しています。その際、学生が駅構内放送を活用し、自転車に鍵をかける声がけや交通事故防止の呼びかけを実施しています。同時に、盗難防止診断も実施しています。寒河江駅を中心に、朝 6 時半頃の通学時に合わせ 2 日間やっています。

4つ目は、寒河江神輿まつりの時、子供たちの犯罪防止のため、防犯パトロールを実施しています。2つのグループに分けて、1 時間近くかけて実施しています。

5つ目は、大型スーパーへの防犯警戒のぼりの掲出依頼です。見守り活動や犯罪防止の啓発活動の一環です。

6つ目は、年末に市内飲食店へ、警察、防犯協会、駅前交番連絡協議会メンバーによる飲酒運転防止、薬物乱用防止で約 50 店舗ほど訪問し実施しています。

7つ目は、補助金を活用した防犯カメラの設置勧奨です。交差点近く、スーパーの駐車場付近などが対象です。

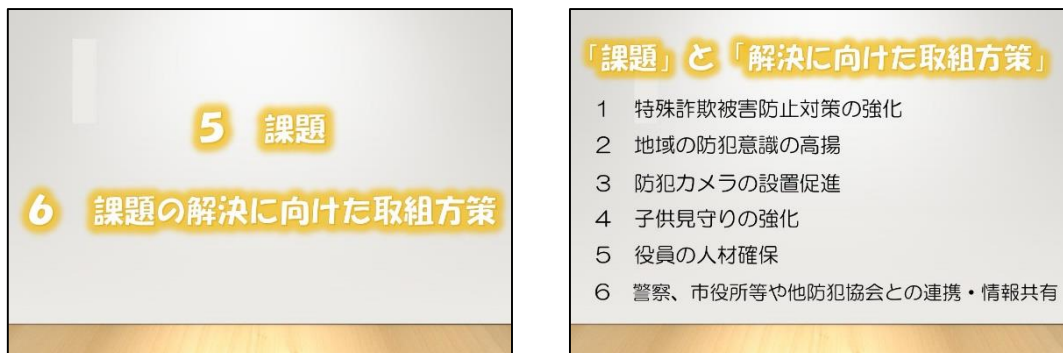
そのほか、小学4年生を限定に毎年、反射材の交付をしています。校長室で交付式を実施しています。



次に、活動頻度について説明します。登下校の見守り活動は毎日です。私もこの活動を始めて12年になり、先月、山形新聞で報道発表されました。

それ以外は随時必要に応じて実施しています。学校、警察から不審者が発生した旨の連絡があった場合は、臨時に青パト強化活動を実施します。また、お年寄り家庭などの見守り活動をしています。騙されないように、変な電話に出ないこと、息子・孫娘などと名乗ってきても自分で決めないで家族に相談すること、金が必要だと言ったら詐欺だと思って間違いないからね、とお茶飲みをしながら、話題にしております。また、お年寄り家庭で車を持っていれば、車の安全運転にも注意するよう話をしています。

たまたま私は、高齢者交通事故防止指導員と薬物乱用防止指導員の委嘱を受けています。変わったものでは、寒河江市の人口対策で、消滅自治体にならないよう、婚活コーディネーターの委嘱も受けています。遊びと真剣さを入り交じりながら取り組んでいます。



次に、課題と解決に向けた取組方策をお話します。6つほど考えております。「特殊詐欺被害防止の強化」、「地域の防犯意識の高揚」、「防犯カメラの設置促進」、「子供見守りの強化」、「役員の人材確保」、「警察、市役所等や他防犯協会との連携・情報共有」です。

本日は時間が限られていますので、3つの項目についてお話します。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

防犯カメラの設置促進



まず、「防犯カメラの設置促進」であります。ご覧いただいている画像は寒河江駅です。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

防犯カメラの設置促進



それから、市内大型スーパーもございます。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

防犯カメラの設置促進



駅以外にもスーパーなどがあり、人の流れが結構あると感じています。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

防犯カメラの設置促進



去年は、駅を中心に自転車盗難被害が急増いたしました。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

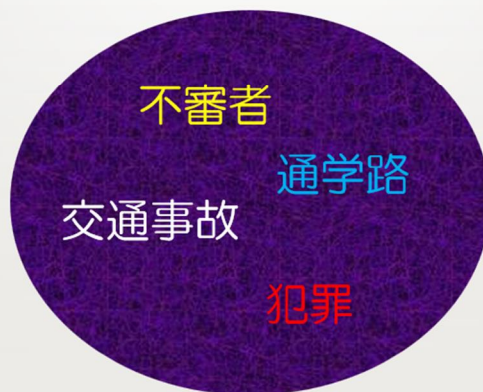
防犯カメラの設置促進



不審者の事案もあり、子供たちが、大丈夫か不安になります。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

防犯カメラの設置促進



通学路の不審者、交通事故、犯罪などが考えられます。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

防犯カメラの設置促進

街頭防犯カメラ
が必要不可欠

やはり防犯のためには、防犯カメラの設置が不可欠です。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

寒河江市に強力な働き掛け

市の補助金を活用し、支部管内の複数箇所に設置

※設置事業所に体する協力依頼も自ら実施



ということで、課題に挙げさせてもらいましたが、正直言うと防犯カメラの設置は非常に簡単です。市補助金が3分の2であることが喜ばれています。カメラの値段は約15万円前後です。市からの補助は3分の2ですから10万円が補助金で、残りは防犯支部が、5万円負担します。設置者は無料です。敷地内を映しながら、交差点付近を撮影するというやり方で、無料で敷地内が映ること、無料で設置できることは喜ばれる一因です。ただし、電気代だけは、設置者から負担していただくことを要請すると、これは二つ返事でOKです。わが支部は、5年度3台、今年度2台、年末までもう1台、協力要請しています。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

寒河江市に強力な働き掛け

市の補助金を活用し、支部管内の防犯カメラ設置

※設置事業所に依頼し、市民も自ら実施

防犯への熱意が身を結ぶ！



防犯カメラ



防犯の取組がなければ、寒河江市の安全安心のまちづくりはできません。

子どものチャイルドガードを基本に、お年寄りの安否確認、青パト活動により不審者対策、特に雑木林、路地裏の巡回活動を行っています。同時に巡回中は必ず声掛け、挨拶をします。これで7割強は犯罪を防ぎます。「こんにちは」、「どこいくの」、さらに「暑いね」、「寒いね」、「今日は何の用事か」なども声掛けをします。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

4 子供見守りの強化



通学路には信号機のない交差点が多数存在

次に、子供見守りの強化です。通学路の整備はまだ不十分であり、信号機のない横断歩道がたくさんあります。特に小学生には、横断歩道では右を見て左を見て、さらに右を見て、安全確認してから渡るように指導しています。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

雨の日も雪の日も毎朝、子供達の元気な姿を確認
たくましく成長する子供達の姿に充実感



毎日の小学校の登校時の立哨指導は、春夏秋冬実施して12年になります。今では立哨するのが楽しく、子どもたちに「おはよう」「おかえり」と声がけするのが当たり前となっています。ただ、緑の防犯ジャンパーを着用していないときに変な声掛けをすると、不審者と思われるので注意しなければなりません。自分の体も家族も、毎日のルーティ

ンになっています。立たないと落ち着かなくなります。そこを通る方々との挨拶も毎日のルーティンです。朝行かないと、家族から「どうしたの、具合でも悪いの」と思われます。だから少々調子悪くても、必ず行くことにしています。すると、いつの間にか治ってしまいます。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

雨の日も雪の日も毎朝、子供達の元気な姿を確認
たくましく成長する子供達の姿

子供は地域の宝！



子どものいない町は活性化のない町、死んだ町のように思われます。子どもの明るい声に、大人、老人が明るくなります。ですから、子どもに対する声掛け「いってらっしゃい」、「おかえり」等で、絶対に子どもを不審者から守る、という意気込みで、青パト活動やチャイルドガードをしています。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

6 警察、市町村や他の防犯協会との連携・情報共有



青パトの
効果的な運用方法



役員の選出方法
など..

関係機関・団体との情報交換が不可欠

次に、関係団体との連携や情報共有です。役員の登用です。若手の役員を登用したいのですが、会社員が多く参加してもらえません。いかに登用が難しいか痛感します。このままでは、老人ばかりになってしまいます。何をするにしても、一個人、一団体では行動に限界があります。

しかし、いろんな団体と情報交換を行えば、新しい取組が生まれ、力も倍増します。また共同であることによって、幅広い取り組みと地域の輪が広がります。ですから、いろんな団体との交流が必要で大事であると考えております。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

他団体との交流・意見交換会を積極的に実施
より良い情報を取り入れつつ、交流を楽しむ！



(令和6年2月、他市町村の防犯協会との交流会)

寒河江支部では、執行役員の慰労を兼ねて、他支部との交流や、警察署、消防署、裁判所、郵便局、歴史資料館、宇宙研究所、雪氷研究所等々の視察研修を実施しています。今年は、県内の高畠支部と交流し、いろんな改善課題について意見交換し、有意義でありました。

人材確保、取り組み状況、市民の反応等を聞きました。人材確保は、消防署退職者などを勧誘していると言っていました。高畠支部の話参考に、私達も、公務員の退職者、PTA 役員の辞めた方などをお願いしていますが、なかなか大変です。

でもやらなければと思い頑張っています。我が支部では、市議会議員の方にも協力をもらっています。

「課題」と「解決に向けた取組方策」

他団体との交流・意見交換会を定期的に実施
より良い情報を取り入れ、課題を解決



（令和6年2月、他市町村の防犯協会との交流会）

先ほどお話したとおり、活動は、遊びと真剣さを入り交えながら取り組むことが大事だと思います。他支部との交流は、私自身が積極的に働きかけております。

また、夏休み前と冬休み前に市内他支部と青パトの情報交換会を実施しています。子どもたちの非行防止を図るのが目的です。いかにコミュニケーションをとるかが決め手です。これからも支部長自身がいろんな関係機関に顔を出して関係構築をしていきます。

おわりに

終わりに、私は婚活コーディネーターの会長という役職を仰せつかっています。また、学童保育所に毎月土曜に3回ほど就業しております。さらに、ボランティア活動で毎月水曜日と木曜日の4回ぐらい、小学校3校で朝、アンデルセンの絵本の読み聞かせを、10分か15分ほどしています。

子どもたちから、朝の立哨時に、「アンデルセンの木村さんだ」などと声かけられています。学童保育所では、子どもたちの送迎時に家族と会います。また、休日や夕方、スーパーや量販店、ホームセンターなどでも家族ともお会いしたりします。

家族が分かっている問題ないですが、家族が分からずにいたとき、子どもから「アンデルセンの木村さんだ」とか、「チャイルドカードのおじさんだ」と声かけられるときがあります。家族は変な顔をします。そのときは「学童保育所の木村です」とか、「学校のアンデルセンで知り合いです」とお話し、子供と家族に理解してもらいながら、防犯の啓発活動をしています。

これからも体の許す限り、さらに家族と地域の方々の協力を得ながら、寒河江市の安全安心なまちづくり、にも協力していきたいと考えております。ご清聴ありがとうございました。



【荒井】 発表ありがとうございました。楽しそうに活動されているのかわかって、とても良かったと思います。ちなみに私もこういうお仕事をしていますので、「ためしてガッテン」の放送は見ていました。内容も楽しかったです。お会いできて光栄です。まず、会場の皆さんと共有したいのが、遊びと真剣さを取り入れた活動というのは本当に大事で、楽しくできないと継続できませんので、楽しみながらやるというのは重要だなと思いました。発表からも楽しさが伝わってきて、とてもいいなと思いました。

1点質問ですが、隊員さんの件で、執行役員が14名ですが、実際に活動されているのは何人ですか。

【発表者】 隊員は学校の校長先生などを含めまして全部で15名ですが、実際には12名です。その中で、皆さん青パトの講習会にも来てもらって、青パトと同時に防犯執行役員もやってくれています。

【荒井】 活動されている方は高齢者が多いのですか。

【発表者】 皆さん65歳以上です。私は75歳になりますけど。

【荒井】 お話を聞いていますと、団体の中にすごい人がいっぱいいるのかなと思いました。そんなにたくさんの方がいて、活動しているわけではないのですね。でしたら、少ない人数でこれだけやっているということはすごいことだなと思います。聞いていて感心しました。

もう1点、防犯カメラの設置を推進していきたい、広めていきたい、ということでしたが、防犯カメラのランニングコストは、誰が出しているのですか。

【発表者】 防犯カメラには、電気代がかかるのですが、それは設置者が出しています。設置する時に、カメラ代と工事代はこちらで負担しますが、防犯カメラが家の玄関から道路まで映すようになりますので、家の防犯にも役立ちますから、電気代はご自身で負担してくださるようお願いしています。

【荒井】 もし壊れたら、修理代はどちらが負担しますか。

【発表者】 壊れたら、私の方で修理します。ただし、現実ほとんど壊れていないです。今はまだ新しいので壊れていないと思いますが、10年とかして壊れてきましたら、1台ずつ修理をするのは大変ですので、一旦終わりにしようという事になっています。

【荒井】 わかりました。ありがとうございました。

大玉村大山防犯協力会（福島県）



私たちは大玉村から来ました。大玉村と言いますと分かりづらいですが、テレビで「DASH 村」をやっている所です。大玉村で米作りをしているメンバーも来ています。よろしくお願いします。



まずは地域紹介です。我々は大山地区の住民で作る防犯団体で、福島県の中通地方にあります。



福島市、郡山、そして近くには本宮、二本松とあり、唯一合併しない村です。4号線、JR東北線、高速道路と非常に通勤の利便性があり、現在、県内1位の人口増加率です。その中で14歳以下の子どもの比率が14.7%と県内トップです。小学校は1つあり、今年も20人ほど増えています。非常に利便性が高い村ですので、ぜひお越しください。



日本100名山である、安達太良山が非常に綺麗に見える地域です。その中で、基盤産業である農業の水稲が盛んな村です。近年は、農業人口の高齢化により、だんだんと農地が荒れてきて、後継者不足が今後の課題となりそうです。震災後、福島県内のお米は風評被害がいまだにあり、関東などに出すにしても、福島県のお米として出せるお米も少なく、国内産と表記されて売られていることが多いです。ただお米としては、非常に美味しいお米ができる地域で、私も農家ですが、後継者不足ですのでもう少し若い方にも継いでもらいたいと思っています。

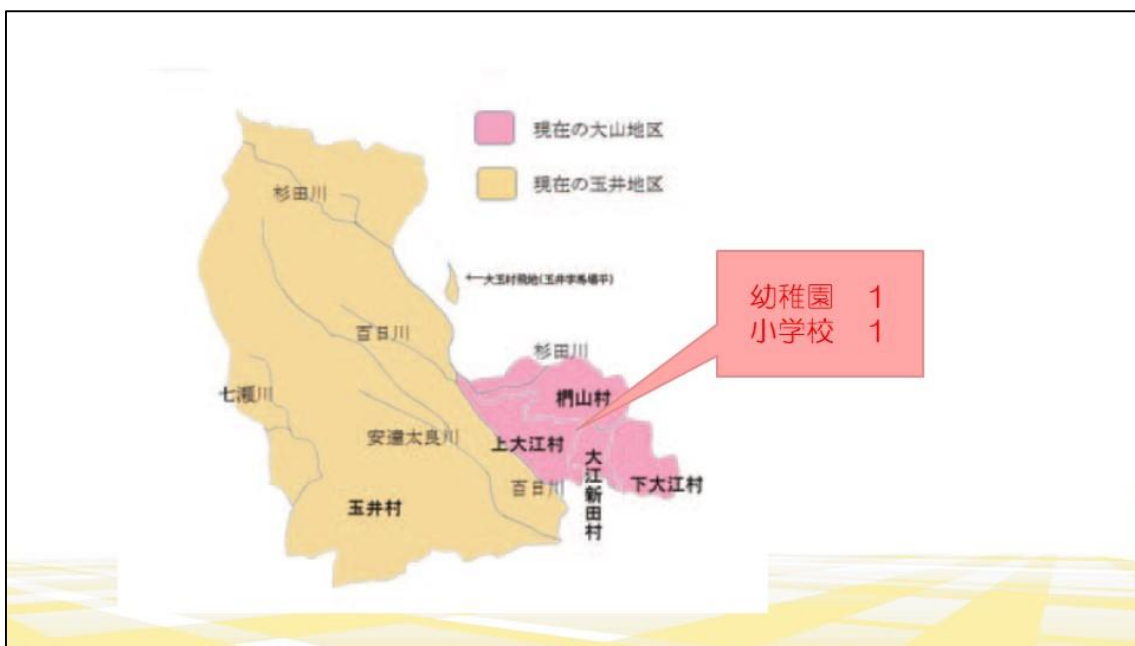


温 泉



オートキャンプ場

自然を活かした温泉施設や福島県のオートキャンプ場もあり、「日本で最も美しい村連合」にも加盟しています。また、世界で初めてマチュピチュ村と友好都市を結んだ村としても、知られているかと思います。非常に自然豊かないいところです。



幼稚園と小学校が 1 校ずつあります。人口増加により、園児、小学生ともに増えていて、来年も増える見込みです。人口増加はどこまで続くか分かりませんが、若年層の方の移住が増えていて、それだけ行政の子どもに対する支援が大きく影響しているのかなと思っています。

大玉村のある大山地区は、玉井村と大山村が昭和 30 年に合併してできました。赤い部分が大山地区ですが、この地域は農村地帯で豊かな自然が多いところです。平成 18 年に東北最大の「PLANT- 5」という商業施設が参りまし

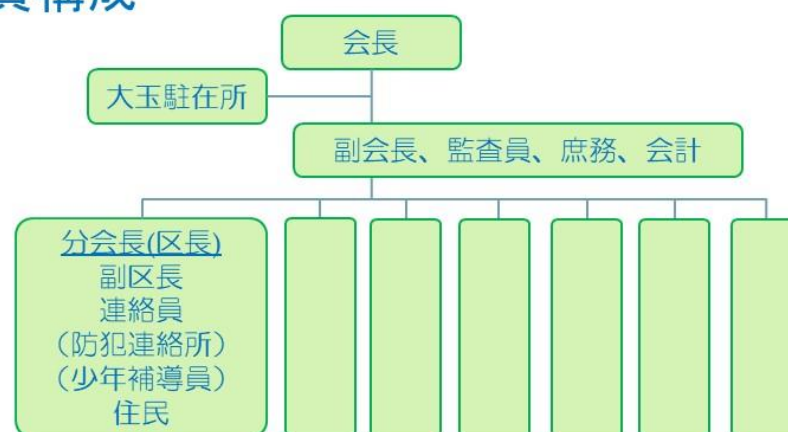
た。こちらは、地域活性化のために役立っております。特に震災の際は、商品がなかなか手に入らなかったのですが、元々福井が本社でしたので、我々の村だけではなく、地域を問わず遠くからも来ていただいたので、地域の復興にも役立った大型商店として、今も賑わっています。

団体概要

- 設立
昭和30年
- 目的
自主的防犯活動を推進し、犯罪や交通事故の発生を未然に防止し、青少年の健全な育成にあたり、明るい地域社会の実現

団体概要です。我々の防犯協会は昭和 30 年に結成され、以降今年で 69 年目で、非常に長い歴史を持っています。先輩の方々の努力があり、我々もこうやって活動をできていると思います。目的は「自主的防犯活動を推進し、犯罪や交通事故の発生を未然に防止し、青少年の健全な育成にあたり、明るい地域社会の実現」であり、日々一生懸命活動しています。

○ 会員構成



会員構成はスライドのとおりですが、私たちの構成員は、本部の者は 18 名ぐらいで、その他に分会長ということで、地域の区長、防犯連絡所、少年補導員という形で組織を形成しています。皆様と同じように人材不足ですが、それぞれ頑張っています。駐在所もありますが、郡山北警察署本宮分庁舎がありまして、警察署とも連携をしながらやっています。



これまで様々な活動をしていまして、去年の9月、「令和5年度全国地域安全運動中央大会」で、長年の活動が認められ、警察庁長官、全国防犯協会連合会会長の連名で「全国防犯功労団体表彰」を受賞しました。これもひとえに、長年の先輩の活動、また地域の方々の協力の賜物だと思っています。先ほども申したとおり、69年という長い歴史の活動が認められ表彰をいただきました。我々はこれを糧に、今後も会員と一緒に地域安全のために頑張っていきたいと再認識しました。



次は、活動内容についてお話をします。我々は、毎月 10 日に青色防犯パトロールをしています。いろいろと啓蒙活動を行いまして、駐在所や署からもらったパンフレットを配りながら、地域の人々が安全安心に暮らせるような活動を行っています。

す。また、夜間パトロールでも地域全体を回っています。不審者や不審車両がないかを1時間少しかけて実施しています。



先ほど申し上げ忘れましたが、5月末現在で人口は8760人ほどで、皆さんの地域とは比べられないぐらい小さな村ですが、非常に住みやすいです。高齢化も進んでいますので、老人の方も安心して住めるよう、防犯活動を繰り返しています。



先ほども申しました「PLANT-5」は非常に大きい施設で、万引きも多いらしく、我々も店内をパトロールしたり、署の方と協力して街頭指導をおこなったりして、万引き防止の啓蒙を行っています。会員の方も仕事を持っていますので、なかなか日中に頻繁に出来ないのが問題で、会員の人材不足が今後の課題かと思います。



祭礼行事等でのパトロール

毎年 8 月に「おおたま夏まつり」があり、村の内外から多くの方々が来場されます。様々な催しを開催して、夜には花火大会も行います。今年も 8 月 4 日に夏まつりが開催され、その前日の 3 日にはビール祭りも開催されます。非常に盛大に行われ、村の活性化のために、地元の方、行政の方が協力をして、地域内外の方にも喜んでもらっています。今年も大盛況に終わるのではと考えています。



危険箇所の点検

これは活動内容のひとつ、「危険箇所点検」です。スクリーンには防犯、大山 PTA となっていますが、実はコロナ以降は、我々単独の防犯協会のみで行っています。地域内の 24～25 箇所を、役員で分担して看板の取り替え、草刈りなどをして、子どもたちが危険な目にあったり、怪我をしたりしないように注意しています。近年の子どもたちは、室内でゲームをしているのか、ほとんどこのような外の場所に来ないのが現状かと思います。ただ、毎年点検をして、危険な場所を周知することが必要だと思っています。



こちらは、今年もしましたが、標語を募集して、その中から防犯協会の役員で選定をし、看板にしています。これを、小学6年生が卒業する時期に、小学校のフェンスに設置して地域の皆さんに見てもらい、犯罪の啓蒙活動を行っています。これは小学校の前ですが、郵便局前や公民館前にも設置したりしています。年末年始にも看板を設置して、地域の方々にお知らせをしています。



こちらは12月に一人暮らし老人訪問ということで、防犯協会では粗品や商品券を持って訪問しています。年末年始には病気などをしないように、会員一同、一軒一軒訪問して、非常に喜んでいただいています。実はコロナ前では、小学6年生の代表の子が4人ほどと一緒に回っていたのですが、コロナ以降はそういった活動ができないので、我々単独でやっています。高齢者の中には、子どもたちが来るのを楽しみに待っている方もいて、そろそろ再開したいと考えています。



私たち防犯協会では、学校に新しく入る新入生に対し、校長先生に防犯ブザーを寄贈しています。また各地区でも、年末年始の出動式などの防犯の行事などにも積極的に参加しています。

課 題

○ 活動時間

仕事を持っている人が多く平日の日中に活動することが難しい

⇒ **ながら防犯**
～日頃からの防犯意識

終わりに課題です。人数も少なく、若い方は多いのですが、仕事を持っている人が多いのと、会員になっても、活動に参加しない方が多いことが悩みとなっています。出席率が高く、協力的な人材がいないと活動ができないので、消防団の分団長など、地域のリーダーの方に入っていただければ、地域の活性化になると思っています。我々の会員も、消防団の分団長や PTA 会長の経験者がほとんどです。会長を退きますと、顧問に置き、いろいろとアドバイスをいただいています。また、駐在所や署の方々と連携して実施しているのが現状です。活動をするには、人材がとても大事なので、今後も良い人材を確保しつつ、活動を続けていきたいと思っています。また、地域住民の方が、住んでよかったという地域にするように、見守り隊の募集等はしておらず、私たちの見守りは、各地域の方をお願いしています。村の広報を使い、子どもたちが下校する際に、その広報を流して地域の方にお知らせをし、子どもを見守ってもらうのが主流です。地区によっては、そ

う組織があるところもあり、その組織の方々が実施しているところもあります。そういう地区が多くなればもっと違うのかな、と思いますが、まだ大きい犯罪がないので、良いのかなと思っています。地域の方にも、ながら防犯をお願いしますという広報を今後も行っていきたいと思っています。今後も犯罪のない、安全安心に暮らせる地域にしたいと思っていますので、これからも活動を頑張りたいと思います。皆様の活動をお聞きして、皆様が素晴らしい活動をしていることにびっくりしました。この機会に、我々も参考にして、地域の防犯に取り組みたいと思います。ご清聴ありがとうございます。

講評

東北大学大学院 文学研究科 准教授 荒井 崇史

【荒井】 発表、ありがとうございました。1 点お伺いしたいのですが、独居高齢者宅の訪問は年末だけですか。それとも、年に何回か行っているのですか。

【発表者】 年末だけになります。

【荒井】 コロナ前は小学生と一緒に回っていたとのことですので、次回からは、またコロナ前のように、是非小学生も連れて行った方がいいと思います。その理由は、子どもたちは見守り活動で見守られている側ですが、一方で高齢者のお宅に一緒に行って、逆に見守る側という立場を経験することも大事だと思うからです。それを繰り返していくと、高齢者の方も今度は活動にも少しずつ参加しようと思うようになります。一人で家にいるよりは、外に出ることによってつながりができることは、高齢者にとってもいいことですし、双方にとって、利点が多いと思います。

【発表者】 次の高齢者宅訪問では、子どもたちを連れて行きたいと思います。

【荒井】 高齢者宅の訪問は、とてもいいことだと思いますので、できれば、年末だけでなく、年に何回か、時々訪問すると思います。そうすることによって、特殊詐欺の被害防止にもつながりますので、回数が増えると少し労力がかかりますが、是非続けて欲しいと思います。ありがとうございました。